

六度にして、冬季の最低温度は零下二十八度なれば、寒暑の差は六十四度と成るが、山地にありては冬季は一層低温を示して、零下三十五度に降ることあり、是平低なるローマニアがロシアの草原より吹き来る寒風に對して、保障を有せざるに依れり、又ブクレシに於ける雨雪日の平均は雨天の七十四日と雪日の十一日にして、雨量の三百七十四耗と雪量の七百二十耗なり、而して冬季は長きも、春季は短くして十五日に達せざることありて、最好の季節を秋季とす。

住民。人口は五百九十五萬餘人にして、一方籽四十五人の割合なり、而して住民は概してローマニア種族(五四九萬人)に屬せり、此の外にユダヤ人、ツァガヌ人、スラフ人、ドイツ人、マギアル人、アルメニア人、ギリシア人等あり、宗教上に於てはギリシア正教に五百四十五萬あるを第一とし、ユダヤ教徒(二七)、カトリック教徒(一五)等之に次げり。

政治。ローマニアは舊と一公國としてトルコ帝國に屬せしが、一八八一年以來、獨立して王國と稱す、君主は二院より成る國會と内閣と共に國政を司れり、兵備は陸軍に平時の六萬餘人、戦時の二十萬餘人ありて、海軍に二十七隻、二千餘噸の兵艦あり。

あり、而して歳入は二億三千四百九十五萬、レイにして歳出は二億二千七百五十六萬、レイなり。

生業。ローマニアは純然たる農業國にして、蜀黍、大麥、烏麥等の外に葡萄の産あり、而して山地が木材、鑛産に豊富なるに拘らず、工業は極めて幼稚にして、僅に岩鹽、石油等の産あるのみ、貿易は輸入に織物器械、鐵器、鐵、綿絲等の二億六千九百九十二萬、レイありて、輸出に穀類、木材、亞麻仁等の三億五千五百六十三萬、レイあり、交通的機關は稍發達して、商船に三百七十九隻、七萬八千噸、鐵道に三千百七十八籽あり、郵便は三千二百七十一局を有し、電信線は一萬八千二百籽弱、電話線に五千五百三十餘籽あり。

處誌。ブクレシ(Bucuresti, Bukureshti) (二八、四一、三五) 北緯四四度二五分三秒、東經二六度六分一八秒は王國の首都なり、ドナウ河の一小支流たるダンボビツァ河に瀕し、海拔九十六米、突の地にありて、ワラキア平野の中央に位せり、街衢は美ならざるも、南東ヨーロッパ屈指の大都會として繁榮せり、ヤッシ(Jassi) (七、八六、一一)はモルダビアの舊都なり、ブルス河を距る數里の處にありて、商業に従事せり、ガラツ(Galatz) (四、四六、三九、八七)は王國第一の商

港にして穀類の集散地なり、ブライラ(Braia)(五七九六一)は河港の一倉庫の地として漸次に旺盛に趣けり、ボトスニ(Botosani)(三三〇二九)はモルダビアの北部にありて農業の中心たり、ブロエヌチ(Bloesti)(四六四七七)は交通上の要處として繁榮の地なり、クライオワ(Chiova)(四五五九二)は小ワラキア地方より出づる物産の集散地なり。

クレテ島

クレテ(Crete) ラテはクレイト(Crete)イギリ クリチ(Kiri) ギリシ キリト(Kiri) トルカ
シ名 ス名 イタリ ア名 コ名
シチア(Candia) イタリ ア名 コ名とも云ふ、東地中海の一大島にしてギリシアの南東に當り、長さ二百六十軒、幅約十乃至五十六軒、面積八千六百十八方軒ありて、住民は三十一萬餘人限り一方軒に三十六人あり、本島は名義上トルコに屬することボスニア、ヘルツェゴビナ、キプロスの如くなるも、イギリス、ロシア、フランス、イタリアの四強國の勢力の下に附近の數嶼を合せて自治國とせられ、一高等委員 現今はギリシアの第二皇子シキアをして管理せしむるが、トルコに對して貢を進むることなし、首都をカネア(Kanea)

(二四五三七)と云ふ、カンチア(Kandia)(二二七七四)は本島第二の名邑なり。

附記 サソス(Sassos)はカルキス半島の東方トルコの海岸に近き一島にして、三百九十三方軒の地積を有するが、エジプトに隸せり。

64
1107

世界地理 前編

FOR



62
401

310531-000-0

62-401

世界地理

野口 保興 講述